



応援したいまちづくりの担い手の皆さんへのインタビューを通して、「まちづくりの今」を紹介します。

☎コミュニティ推進課 コミュニティ推進係
☎72-2111

野田 利郎さん

特別支援学校教員を経てNPO法人の設立に関わる。(しょうがい者と共に生きる「みんなのかえるランド(2016年設立)理事長)市のボランティア連絡協議会代表。



活動の原点

もともと特別支援学校の教員で、いろいろな特徴をもった子どもたちとその家族に出会いました。家族の一番の悩みは、学校を卒業してからの暮らし。多くの悩みを聞くうちに、次第に私は「みんなが当たり前前に暮らせる社会を作らないといけない」という思いを募らせました。

寄り添えるように

障がいのある人が地域で暮らしやすくなるためには、まず身近な人に理解してもらうことが重要です。その理解を深めるため、1984年、教員だった私は、障がいのある人もない人も共に学び、共に働き、共に生きることが出来る社会をめざした「小郡地区『障害』児(者)教育を考える会」を発足。その後「みんなのかえるランド」をオープンしました。

「みんなのかえるランド」には、あらゆる相談が寄せられます。私は、悩みを持った家

族が安心して相談でき、そこから人のつながりを生み出す場になれるよう運営してきました。その中で私にできることは、それまでに学んだ「じっくりと話を聞いて、当事者と家族に寄り添うこと」でした。

人との出会いで感じること

これまで多くの人に出会い、その人たちの思いを背負っている責任感や使命感がある中で、この活動を続けることができました。

しかし、私がこれまでこの活動を続けてこられた大きな原動力は、その人たちの素直な感情表現や思いに触れると、人の素晴らしさや優しさ、喜びを感じる事ができるからです。そういった関わりが、自分の生きがいになっています。



思い続けると社会が変わる

私は、障がいのある人たちへの支援や理解を進める活動を40年以上続けてきました。特に、障がいのある人が、地域で暮らしやすくなること、こだわりを持ち続けてきました。それに対し、少しずつ社会や制度が追い付いてきていることを嬉しく思っています。

誰かの暮らしに目を向けて

私は、いろんな場面で自分が試されてきたと思っていました。人の助けを借りながら、どんな自分でいたいかを考え行動してきました。今後も人の助けは必要です。そんな他者との関わりは暮らしを豊かにします。

皆さんも、身近な人が困っていたら、まずはできることから始めてみてください。多くの人がそうすれば、小郡の暮らしはもっと良くなります。「小郡市民全員ボランティア計画」は、私の壮大な目標の一つです。

NPO法人
しょうがい者と共に生きる
「みんなのかえるランド」

障がいのある人もない人も、共に過ごし、理解を深められるオープンな場として運営。会員同士の交流行事や社会体験、悩みを抱える当事者や家族の相談事業を行っています。

住所：小郡市三沢4151-1
☎F75-8018

